

# 労働文化を語る

## シンポジウム

能力主義、成果主義、差別主義、競争社会、格差社会、果ては労働者に不労所得を  
憧れさせる世の中で、いま一度人間らしい働き方・生き方を考え合っていきたい。

人を蹴落としたり、上手く立ち回ったりするのではなく、どのような社会を未来に残し  
ていけるのか、「労働文化」の歴史や現状を踏まえ、労働運動が健全な社会を支える重  
要な役割を持っている認識を広め、希望のもてる安心社会を労働者自ら創り上げてい  
くための一助としたい。

### 1. 基調講演

## 「いまなぜ労働文化か」

〈講師〉 — 篠田 徹 氏 (早稲田大学社会科学部教授)

月刊『連合』に『「労働文化」耕論』を連載中

### 2. パネルディスカッション

## 「労働文化運動の展望」

〈パネリスト〉

- ・篠田 徹 氏 (講師)
- ・神谷 忠孝 氏 (北大名誉教授)
- ・斎藤 勉 氏 (連合北海道)

〈コーディネーター〉

荒又 重雄 氏 (労文協会会長)

- ▶ 日 時 — 2015年7月10日(金) 18時～20時30分
- ▶ 場 所 — 北海道自治労会館 4階ホール  
(札幌市北区北6条西7丁目)
- ▶ 参加費 — 500円(資料代)
- ▶ 参加対象 — 連合北海道各産別、労文協会員等関係者

主催／連合北海道・北海道労働文化協会 共催／北海道自治労会館

「働くことを軸とする安心社会」にむけて